勝家ゆかりの福井を歩く

❶北庄城址

9層の天守閣を有した日本最大級の城だったと記録に残っている、柴田勝家の居城であった北庄城跡。城址内には柴田勝家公・お市の方を祀る柴田神社、茶々・初・江を祀る三姉妹神社がある。

❷九十九橋・九十九橋解説板

越前に入った勝家が、南側を石造りに、北側を木造に架け替えたと伝わる。半石半木の珍しい橋として江戸時代には日本各地に知られ、葛飾北斎の『諸国名橋奇覧』にも描かれている。

❸福井市立郷土歴史博物館

越前松平家伝来の重宝・資料を多数所蔵し展示している。常設展では、九十九橋の実大模型や福井城本丸の縮小模型も展示している。

❹天魔ヶ池

天正11年（1583）豊臣秀吉が勝家の北庄城を攻略したとき、この付近に本陣を置いたと伝わる。

❺西光寺

勝家公・お市の方の菩提所。天台真盛宗。朝倉氏滅亡後、勝家が福井市岡保村から現在地に移転させたと伝わる。墓がある境内は自由参拝。併設の勝家公資料館は要予約（TEL0776-36-1528）。

❻自性院

お市の方の菩提所。寺伝によると、お市の方23回忌相当の年に、院号（自性院）を賜り如意輪山願應寺自性院と改称したと伝えられる。

❼総光寺

丹羽長秀公の菩提所。長秀は勝家と共に織田家の双璧と呼ばれた重臣。勝家自決後に北庄城主となった。

❽長慶寺

堀秀政公の菩提所。秀政は勝家・丹羽氏の後の北庄城主で、自画像も伝えられている。

❾旧一乗町石碑

天正6年（1578）の古文書にみえる城下町で最も古い町名であり、勝家が朝倉氏の本拠地の一乗谷から住民を移住させてつくったまちといわれる。当時から続く老舗もある。

発行：(公財)歴史のみえるまちづくり協会　2025.3

柴田勝家 略年表

大永 二年（一五二二）	**勝家生まれる。（異説あり）**
天文一八年（一五四九）～二一年	**信長の弟、信行の家老として資料に初見。**
弘治 三年（一五五七）一一月	**信行の謀反を信長に密告。**
永禄 三年（一五六〇）五月	**信長の直参となる。**
永禄 六年（一五六三）	**桶狭間の戦いに出陣。美濃攻めで殊勲。**
元亀 元年（一五七〇）四月	ルイス・フロイス来日。お市の方、浅井長政に嫁す。
六月	信長、朝倉攻めに着手。
天正 元年（一五七三）七月	**六角軍に囲まれ籠城、**
八月	**水瓶を割り決死の覚悟で六角軍を破る。（「瓶割り柴田」の異名）**
天正 二年（一五七四）九月	織田・徳川連合軍が姉川の合戦で浅井・朝倉軍を破る。
天正 三年（一五七五）八月	室町幕府滅亡。
九月二日	信長、朝倉氏を破る。朝倉義景自害。浅井久政・長政親子自害。
天正 四年（一五七六）	朝倉氏・浅井氏滅亡。お市の方、三姉妹とともに信長に身を寄せる。
天正 五年（一五七七）八月	長島一向一揆平定。このころ越前一向一揆決起。
天正 九年（一五八一）	**越前一向一揆討伐で活躍。**
天正一〇年（一五八二）六月二日	**信長より越前北庄を与えられる。**
六月一三日	**北庄城築城に着手。刀狩を実施。**
六月二七日	**越前一向一揆ほぼ平定。**
七月頃	**上杉謙信に備え加賀に派遣される。**
一一月三日	北庄城にルイス・フロイス来訪。
一二月九日	本能寺の変。明智光秀の謀反で信長自害。
天正一一年（一五八三）一月	秀吉、中国大返し、山崎の合戦で光秀を破る。
三月三日	**上杉景勝と対陣、本能寺の変に動けず。**
三月九日	清洲会議において、秀吉主導のもと秀信が織田家継嗣に決する。
三月一二日	**岐阜城においてお市の方と祝言をあげ、北庄城に帰る。**
三月一七日	**前田利家らを山崎城に派遣し、秀吉と和議。**
四月二一日	秀吉、勝家との和議を破り近江に出兵。
四月二二日	勝家の養子勝豊の長浜城を包囲。勝豊を降伏させる。
四月二三日	滝川一益、勝家に与して北伊勢で戦闘を始める。
四月二四日	佐久間盛政、北庄より出陣。
四月二七日	**総大将として前田利家を従い北庄出陣。**
	玄蕃尾城に着陣。
	秀吉と対陣。
	秀吉、弟秀長を木之本の本陣に置き、長浜城に入る。
	秀吉、盛政軍を余呉湖西岬で撃破。柴田勝政戦死。賤ケ岳七本槍活躍。
	毛受兄弟に馬印を与え、北庄へ敗走。
	府中城の前田利家、秀吉に降る。
	秀吉、北庄城を包囲。
	お市の方とともに、城に火を放ち自害。
	三姉妹は北庄城を脱出。
	丹羽長秀が北庄城主に任じられる。